



神奈川県議会議員

2012年6月発行

うらみち 健一後援会だより

早くも提言が実現しました。

本年2月23日(木)に、初めて本会議での一般質問を行ったことは、前回の後援会だより・プレス民主並びに県政報告等でお知らせしたところですが、その際に、『若年層における非正規雇用者への就業支援』について知事に、「非正規雇用が長期化している若年層に県の支援が届いていない。彼らこそ本当に就業支援を必要としている層だと思う。非正規雇用者が増加傾向にある現状に対する認識と、更に踏み込んだ就業支援策についてお伺いしたい。また、支援メニューや情報提供の仕方について、彼らと直接『対話の広場』等で、意見交換をしてみてもどうか。」という質問をしました。それに対して知事は「将来の社会・経済基盤に大きな影響を及ぼす問題と認識。若年層に対し、きめ細やかな就業支援の取組を行うとともに、必要な情報が確実に伝わるよう、周知方法を工夫していく。また、若年層の労働問題、正規雇用非正規雇用の問題、生の声を聴いてみるべきとの提言は、大変前向きに受け止め、実現していきたい。」との答弁をいただきました。

そうしたところ、一般質問からまだ3か月も経っていないにもかかわらず、県は知事との「対話の広場」『若者の働き方を考える』～非正規雇用を中心として～と題して、5月21日(月)18時30分より、県庁本庁舎3階大会議室にて開催しました。

当日は、平日の夕方からの開催にも関わらず、県内から多くの方が参加されておりました。私も知事から参加要請を頂き参加者席から議論に参加致しました。

その中で非正規雇用で頑張っている人からは、正規雇用を目標に日々葛藤し頑張っている想いや、高校の校長や教職員からは進路に役立つ取組や、卒業生の進路状況についての発言があったり、大変勉強になりました。

最後に知事よりコメント(感想)を求められ、質問に取り上げた経緯等をお話しし、労働・雇用問題については、私のライフワークとして、今後も引き続き取り組んでいく決意を申し述べました。

これからも、皆様の声を県政に反映できるよう努力してまいります。

